

WEB簡易評価ツール

診断結果

評価



適用すべき検証法の種類

階避難安全検証法

ルートB

[① 避難安全検証法とは](#)

実際に削減できる可能性がある内容

階段の数を減らすことができる (専有面積・レントابل比がアップ)

防煙垂れ壁を減らすことができる

防煙垂れ壁をH=300とすることができる

機械排煙設備が不要になる (排煙ダクトも不要になるため設計自由度もアップ)

メリット・デメリット

メリット

排煙設備の規定の除外や防煙区画の規定の緩和で、コスト・計画共に効果が有ります。また、防煙垂れ壁を削減することで、地震時の防煙垂れ壁落下の危険等も回避できます。

直通階段への歩行距離の規定の除外で階段の数を減らすことで、その分売場面積を確保することができます。

売場面積が広く、天井高さも高いことが多いため、あまり対策をしなくても検証法がクリアし易いです。

デメリット

テナントの入れ替わりが多い場合等で、室用途・間仕切り位置が変わると計算結果が変わってしまうため、その都度改めて検証をするという手間が掛かります。

[① メリット・デメリット](#)

検証法を適用した際に削減できる可能性のあるイニシャルコストメリット

円

[注]上記金額はあくまで参考金額になります。減額が可能であることを保証するものではありません。

[注]上記金額はランニングコストに対する評価は含まれておりません。

[① コストメリット](#)